

長沼総領事着任のご挨拶

本年4月に着任しました長沼です。今まで外務省では、主に、原子力、環境問題、国際法などの分野で仕事を行ってきましたが、どのようなイシューを取り扱う際にも同盟国である米国とは密接に連携し、日米が協力することによって国際社会における議論をリードできることを実感してきました。今回、ヒューストンで日米協力の現場に立てることは大きな喜びです。

現在、ロシアによるウクライナ侵略などにより、国際社会は歴史的な転換点にあります。東シナ海、南シナ海においては、現実に、力による一方的な現状変更が行われています。我々が築き上げてきた自由で開かれた国際秩序は、重大な危機にさらされています。このような中で、日米関係の重要性はかつてないほど高まっており、今こそ日米両国の絆を一層強めていく必要があります。

強固な日米関係は、政府レベルの協力のみによって実現するものではありません。地域レベル、企業レベル、草の根レベルの協力こそが日米関係の基盤となるものです。この意味で、日米の経済関係を強固にすることは、両国の発展のみならず、国際社会の安定にも資する意義を有するものと考えています。

在ヒューストン総領事館が担当するテキサス州は、近年目覚ましい発展

を遂げています。GDP、人口動態などの様々な経済指標は、テキサスが大きな勢いを持って成長していることを示しています。そのような中、テキサスへの投資第一位の国は日本です。日本との経済関係は、テキサスの成長の大きな原動力となっています。このような背景があるからでしょうか、着任後にご挨拶させていただいたアボット・テキサス州知事や市長の方々は、口を揃えて、日本との経済関係を高く評価している、これを更に発展させたいと熱く語っておられました。

スティーブ・キーンGHP会長は私に対し、ヒューストンは、脱炭素、医療・生命科学、宇宙の分野において今後さらに発展すると述べておられました。これらの分野を含め、日本とヒューストンの経済界の協力がさらに進展するよう、総領事館として全力を尽くしてまいります。

最後に、商工会の幅広い活動を実施し、これを支えておられる各種委員・事務局の皆様へ心から御礼を申し上げます。商工会の皆様が安全で多岐にわたる日々を過ごされますよう、総領事館としても、各種委員・事務局の皆様と共に、商工会の活動に貢献してまいります。どうかよろしく願いいたします。

在ヒューストン日本国総領事
長沼 善太郎



総領事歓迎会

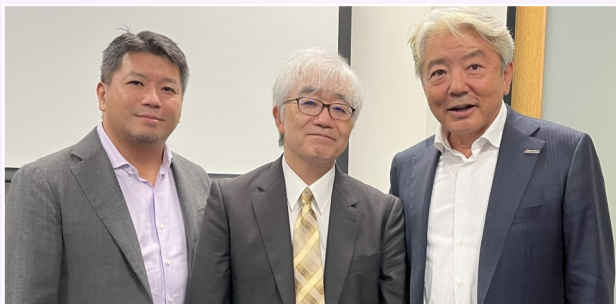


4月15日に着任された長沼善太郎総領事の歓迎会が5月23日に三水会センター会議室にて開催されました。

会には総領事館職員をはじめ、商工会役員や理事、委員長、特命理事等17名の方々が出席されました。皆本副会長の乾杯のご発声の後、長沼総領事からご挨拶をいただき、総領事を囲んで歓談のときが持たれました。

終盤では、商工会を代表して石川会長から、脱炭素対応等のエネルギー業界動向などヒューストンにおける経済状況について紹介があり、今後も引き続き総領事館のご協力を仰ぎながら活動を円滑に進めたいとの言葉が述べられ、一本締めで盛会のうちに終了しました。

(事務局)



目次	1…新総領事着任ご挨拶・歓迎会	5…能登半島地震その後・会社紹介	8…イエローストーン	11…日本庭園清掃・知つとん
	2…Meet & Greet GHP	6…ハリケーン対策持ち物リスト	9…SJ晴れ着撮影会・三水会クラブ	12…休館日・議事録・Houston Walker・編集後記
	3・4…ソフトボール	7…駐妻日記・ジャパンフェスティバル告知	10…テキサスメディカル	